

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども療育研究室Lulu大津（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	セラピストや保育士等が専門的な視点で支援方法を提案し、共有しながらチームとして支援を行っている。	専門的な視点で定期的なアセスメントを行い、個別の支援方法を共有している。	保護者を交えた支援会議に参加し、専門的な視点からのアドバイス、助言等を行い、保護者への不安を軽減していく。
2	セラピストによる専門的支援へ向けた評価、アセスメントの実施を行っている。	セラピストが必要な評価を行い、ご利用児童一人ひとりの発達段階に合わせた課題の提供を行っている。	小集団活動の内容についての課題の提供、移行支援やライフステージに合わせた取り組みの充実化を図る。
3	保育所等訪問との連携を図っている。	学校で現状起きている課題や方向性の確認等を訪問支援員と行い、学校と共通した支援を行ったり、課題に向けて事業所で取り組むようにしている。	学校と事業所での役割等や支援の方向性の共通認識を図るために連携会議や情報交換会を定期的に行っていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の交流会やイベントの実施が不十分である。	通所事業運営がメインとなっている為、イベント開催を企画運営する人員が不足している。	人員の確保に努めたいイベント開催にあたっての情報収集を行っていく。
2	地域との交流が不十分である。	地域交流に向けた仕組みなど、知識・経験が不十分である。	子ども部会等で他事業所との連携を図り、地域交流に向けた情報収集を行っていきたい。
3	移行（出口）支援へに向けた児童、保護者への不安を軽減できるような取り組みや説明が不十分である。	ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備の提供や地域との交流が不十分である。	地域交流に向けた取り組み、連携を図る。将来的な移行に向けた情報共有を児童、保護者に行いながら支援を行う。